

4 取組方針

ソフト・ハード両面からの対策における課題を踏まえ、本計画の取組方針を以下のとおりとしました。

【取組方針：災害レジリエンスNo.1の実現】

本県を襲った令和元年東日本台風をはじめ、近年、気候変動の影響により、土砂災害が頻発化・激甚化する中、土砂災害の新たな脅威にしっかりと対応できる「災害レジリエンスNo.1」の実現に向け、ソフト・ハードが一体となった土砂災害対策を加速させる。

【ソフト対策の課題】

- 土砂災害防止法に基づく基礎調査を継続し、最新の情報を提供する必要がある
- 土砂災害警戒情報の提供手段の多様化と発表基準の精度向上を進める必要がある
- 住民主体の警戒避難体制構築の取組を県内全域へ波及させる必要がある
- 要配慮者利用施設における利用者の円滑かつ迅速な避難の確保が急務となっている

【ハード対策の課題】

- 要配慮者利用施設への対策
- 異常気象時に住民が安全に避難するための避難所への対策
- 土砂災害特別警戒区域内に存在する人家への対策
- 土砂災害警戒区域内に人家が多く存在している箇所への対策
- 重要交通網・ライフラインの寸断による救助・救援の遅れや孤立地域の発生の防止

取組方針

【災害レジリエンスNo.1の実現】

本県を襲った令和元年東日本台風をはじめ、近年、気候変動の影響により、土砂災害が頻発化・激甚化する中、土砂災害の新たな脅威にしっかりと対応できる「災害レジリエンスNo.1」の実現に向け、ソフト・ハードが一体となった土砂災害対策を加速させる。

計画の目的を達成するための取組

- 【ソフト対策】
土砂災害による「逃げ遅れゼロ」に向けた避難行動の促進
- 【ハード対策】
土砂災害リスクを軽減させる防災インフラ整備

【計画の実現に向けた「新たな視点」】
2050年に向けた「ぐんま5つのゼロ宣言」
群馬・気象災害非常事態宣言
ぐんまSDGsイニシアティブ ～SDGs先進県に向けた決意宣言～

図 19 取組方針と達成に向けた取組体系



図 20 計画の実現に向けたロードマップ